

道水連第 26 - 014 号
2026年 6 月 23 日

各 加 盟 団 体 会 長 様

(一財)北海道水泳連盟
会 長 川 村 恒 宏
(公印省略)

第 49 回(2026 年度)全国ジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会北海道予選会
にかかると競技役員の委嘱について

謹啓 紫陽花の候 ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
平素は、当連盟の諸事業につきまして特段のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、標記大会の開催に当たり、貴団体よりご推薦いただきました競技役員について、別紙のとおり決定しましたのでご通知いたします。
つきましては、別紙の連絡事項等について周知方をお願いいたします。
公私ともご多用のり誠に恐縮ですが、よろしくお取り計らいますようお願いいたします。
謹白

道水連第 26 - 014 号
2026年 6 月 23 日

参加登録団体責任者 様

(一財)北海道水泳連盟
会長 川村恒宏
(公印省略)

第49回(2026年度)全国ジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会北海道予選会
にかかると競技役員の委嘱について

謹啓 紫陽花の候 ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
平素は、当連盟の諸事業につきまして特段のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、標記大会の開催に当たり、貴団体よりご派遣いただきました競技役員について、別紙のとおり決定しましたのでご通知いたします。
つきましては、別紙の連絡事項等について周知方をお願いいたします。
公私ともご多用のり誠に恐縮ですが、よろしくお取り計らいますようお願いいたします。
謹白

第49回(2026年度)全国ジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会北海道予選会連絡事項

(一財)北海道水泳連盟競技委員会

本大会は、参加 60 団体・選手 768(男 375・女 393)人・1,853(男 898・女 955)リレー22 種目(男 10・女 12)の大会となり、次の要領により感染防止を第一とした、安全な競技運営を行いたいと思いますので、ご協力をお願いいたします。

1 本大会参加について

本大会開催前において以下の事項に該当する場合は、大会の参加を自粛するようお願い致します。

- 平熱を超える発熱や、咳(せき)・喉(のど)の痛みなど風邪の症状がみられる場合。
- 新型コロナウイルス・インフルエンザ感染症陽性と診断された(同居家族を含む)場合。

2 ADカード・マスクの着用について

(1) ADカード

① 本大会は、監督・コーチ、選手、観覧者毎にADカードを使用します。(本連盟より郵送)

② ADカード用ホルダーは各自でご用意ください。仕様サイズは以下のとおり。

※ 仕様：ネックストラップ付きカードホルダー（縦型）

※ サイズ：はがきサイズ（100mm×148mm）用

③ ADカードは入館時から着用し(首から提げる)、会場内では常時着用してください。観客席やプールアリーナ内、更衣室等への入場にも必要になります。

④ ADカードが無い場合は、競技に参加出来ません。

(2) マスクの着用については、個人の判断に委ねます。

※会場の開館時や更衣室、招集所等、人ごみの多いところではマスクの着用を推奨します。また、応援等で大きな声を上げるときも同様にマスクの着用を推奨します。

3 入館について

(1) 選手等（監督・コーチを含む）入館は、7：20 から行います。

(2) 入館は正面入口の2箇所から行います。入館5分前には4列に並んだコーンに沿って、それぞれ1列縦隊で並んでください。また、**館内は土足禁止**ですので予め靴袋等を用意してください。

(3) 入館後は距離・間隔はそのままに保ち、所定の待機所へ移動してください。

(4) 一般観客の入場は、「選手のウォームアップ開始が確認されたから」（審判長判断-時間未定）行います。

(5) 一般観客の入場は、競技出場者の関係者1名限定とします。入場の際は、事前配布の観覧用ADカードを首から提げて確認を受けてください。ADカードがない場合は入場できません。また、会場内では必ず首から提げてください。

4 チーム席、監督・コーチ席について（別添会場図参照）

(1) 監督・コーチ席は、観客席の競技プール中央付近上段に設けます。譲り合ってください。なお、観客席上段のコーチスペースは、場所取り・椅子等の持込みを禁止とします。

(2) 競技中のウォーミングアップエリアへの移動は、監督・コーチのみ観客席右側（飛込プール側）の階段を利用してください。

(3) 観客席最上段デッキにストレッチスペースを、ロビー中段にトレーナーブースを設けます。ストレッチスペースは場所取り禁止とし、トレーナーブースは競技開始後より利用可能です。

(4) 観客席での飲食は可能ですがゴミは必ずお持ち帰りください。

※守られないチームには競技会参加制限等厳しい対処で臨む方針です。選手への周知徹底をお願いします。

5 更衣室の利用について

(1) 更衣室は、プール更衣室をご利用ください。なお、混雑緩和のため入場制限を行います。

- (2) 盗難防止のため、更衣室内ロッカーは使用可能です。必ず施錠して使用すること(100円リターン式)。なお施錠の無い使用は禁止し、室内および施錠の無いロッカーに物を発見次第、主催者側で“忘れ物として回収”します。また、鍵の紛失は有料で補償(自己負担)していただきますので、鍵の保管は充分注意してください。
- (3) 着替えは速やかに済ませ、休憩や談笑などで留まらないでください。

6 棄権届の提出について

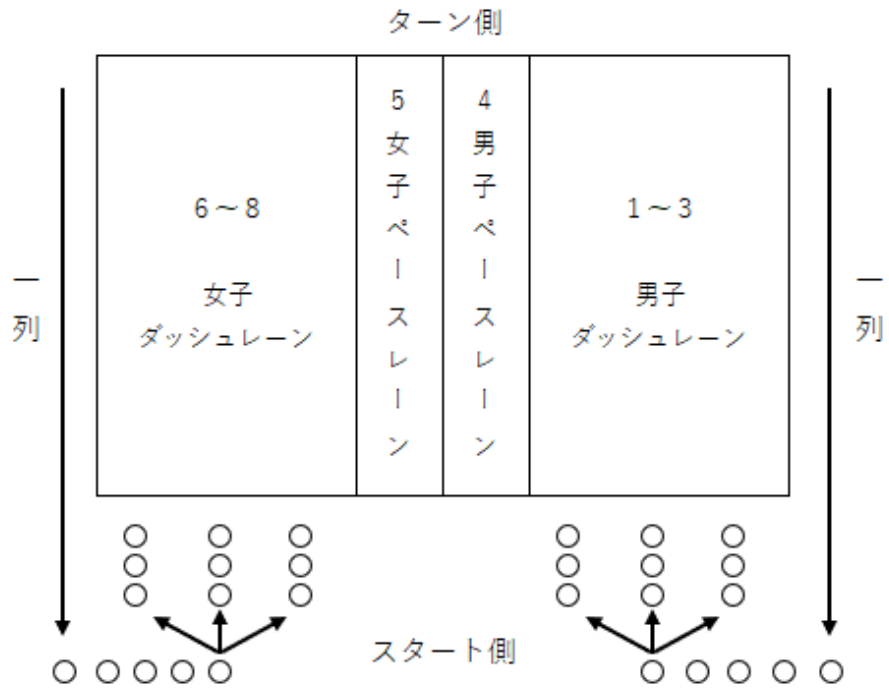
- (1) 棄権、プログラム訂正は規定の書式により当該競技を行う日の**8:30**までに、招集所へ提出してください。
- (2) リレーオーダーの提出は当該競技を行う日の**10:00**までに、招集所へ提出してください。

7 競技について

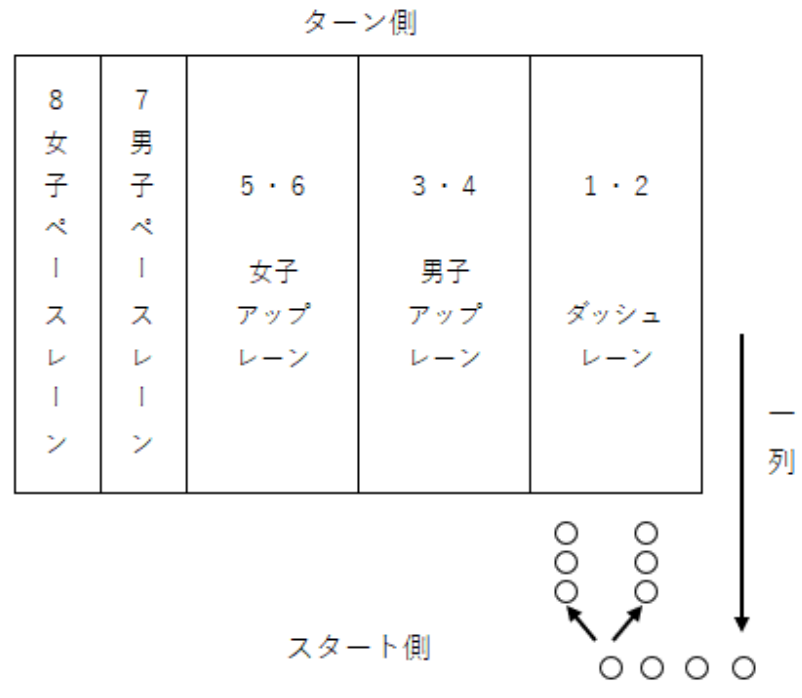
- (1) 本競技会は、2026年度(公財)日本水泳連盟競泳競技規則に則り実施します。
- (2) プログラムの予定時間より20分以上繰り上げないことを原則とします。
- (3) 全競技のスタートはスタート側から行います。
- (3) 選手への指導事項
 - ① 身体を濡らすための水浴びは、招集所付近に設置の大型容器の水を利用してください。
 - ② 選手は、必ずユニフォーム等を入れる収納袋を持参してください。
(キャップ、収納袋等に商標規程違反が無いか招集前にチェックすること(コーチと共に))
水着等の盗難事案が発生しています。各チームは保管方法等に充分配慮してください。
 - ③ スタート席へはユニフォーム(セーム含む。着用は任意)、ADカードのみを持ち脱衣カゴに置いてください。
 - ④ スタート台のバックプレートの調整をし、キャップとゴーグルを直してください。
 - ⑤ 背泳ぎの選手は入場後、直ちにバックストロークレッジの調整を行うこと(使用する場合)。
 - ⑥ ゴールタッチは、タッチ板の「有効面」に確実にタッチしてください。
 - ⑦ 水から上がった後は、ADカードを首から下げて着用し、荷物を全て持って退場します。

8 ウォーミングアップについて(両日とも)

- (1) メインプールは**7:30~9:15**、サブプールは**7:30~**競技終了までとします。
- (2) 利用方法について
 - ① 練習でのパドル・ゴムチューブの用具は使用禁止とします。
 - ② 水中およびプールサイドでの順番待ちや待機中は、他者との距離など配慮ある行動を心がけてください。
 - ③ アリーナ内での、ウォーミングアップ中における指導を目的とした監督・コーチによる写真・ビデオ撮影は認めますが、周囲への配慮や危険に注意して行ってください。
- (3) ペースレーン **8:00~8:50** 男子4レーン・女子5レーンを右側通行で使用すること。
※400m以上の種目出場者のみとし、途中で止まらない。
※スイムのみとし、道具を使う練習およびダッシュ練習は禁止とします。
- (4) ダッシュ練習 **8:30~8:50** 男子1~3レーン・女子6~8レーンを使用すること。
※スタート側から一方通行
- (5) 公式スタート練習 **8:50~9:10** 男子1~3レーン・女子6~8レーンを使用すること。
※スタート側から一方通行
- (6) 順番待ちの並び方は次図を参照してください。また、一列で並び、順番待ち中は不必要な会話をお控えください。



- (7) チャレンジレース参加者のメインプールでのウォーミングアップ
- 1日目 14:30~15:20
 - 2日目 14:15~15:05



※ダッシュレーンは、スタート側から一方通行とします。

※ペースレーンは、400m種目出場者のみとします。また、スイムのみとし、道具を使う練習及びダッシュ練習は禁止。

9 招集について

その種目の競技開始 20分前 から行います。ADカードと着衣を収納する袋を用意して集合し、招集員点呼を受けてください。

※ 必ず本人(リレーはチーム全員)が、時間に遅れないように集合してください。

10 通告について

- (1) 個人種目のレーン(選手)紹介およびを記録・結果の発表は行いません。リレー種目はチーム名のみ行います。ただし、新記録の樹立および失格者の通告は行います。
- (2) 競技結果は、東洋電子システムホームページにてご確認ください。また、競技結果は、プログラムの競技順序裏面掲載のQRコードから確認できます。
- (3) 記載のQRコードを読み取り、「結果一覧表」→「本大会」→「結果」を表示してご確認ください。
- (4) 競技の記録・結果の発表は行いません。ただし、新記録および失格者の通告は行います。
- (5) その他の必要な連絡伝達は、場内放送を利用して行います。



QRコード

11 表彰について

- (1) 個人種目の各種目 1位にはメダル、1～3位の入賞者には賞状を贈ります。
- (2) リレー種目の各種目 1位～3位までの団体には賞状を贈ります。
- (3) メダル・賞状は、賞典(放送室前)でお渡しします。両日共、全競技終了後 20分までとします。

12 館内の立ち入り制限について

- (1) 各エリアへの入場は、それぞれのADカードで規制されています。
- (2) 競技エリアは、大会役員、出場選手および審判長の許可を受けた者以外の入場を禁止します。ただし、ウォーミングアップ時間帯は除きます。
- (3) ウォーミングアップエリアで選手のアップ指導をする以外の行為(応援や休憩等)は禁止します。
- (4) メインアリーナ(体育館)及びメインアリーナ側通路は、他団体使用のため立入禁止とします。

13 写真・ビデオ撮影について

- (1) 施設内で撮影できるエリアは、プール観客席のみとします。
- (2) プール観客席での撮影は、必ず席に座って撮影してください。
- (3) 許可を受けた報道機関や競技役員を除き、競技中のアリーナ内(競技エリア・ウォーミングアップエリア)での撮影は禁止します。ただし、ウォーミングアップ時間内での監督・コーチによる指導を目的とした撮影については認めるが、周囲への配慮や危険に注意して行うこと。
- (4) 更衣室内での撮影は、いかなる場合も禁止します。
- (5) 一般観客による撮影は、観覧用ADカード着用を条件に自分の席からのみ撮影を許可します。
- (6) 会場内(施設内)で撮影された写真や映像をSNS等やその他の公な場に公開するためには、必ず権利者全員の許諾を公開者が受ける必要があります。権利者の許可なく掲載した場合、公開者は肖像権の侵害行為になり得ますのでご注意ください。なお、主催者側は個人間(参加団体を含む)の肖像権に関するトラブルについては一切責任を負いかねます。
- (7) **水着等の盗難事案が発生しています。各チームは保管方法等に充分配慮してください。**
(自己責任とし主催者側は関知しません) 盗難防止のため、更衣室内ロッカーは使用可能です。必ず施錠して使用すること(100円リターン式)。なお施錠の無い使用は禁止し、室内および施錠の無いロッカーに物を発見次第、主催者側で“忘れ物として回収”します。また、鍵の紛失は有料で補償(自己負担)していただきますので、鍵の保管は充分注意してください。

14 ゴミの処理・忘れ物の取扱いについて

- (1) ゴミは全て持ち帰りとなっております。持ち帰り忘れのゴミは、当該チームへ着払いによる送達手続きを取るようになりますので、予めご承知おきください。
- (2) 忘れ物については競技終了後に処分いたします。北海道水泳連盟および野幌プールへの問合せは受けられませんので予めご了承ください。

15 その他

- (1) 今大会は、無料動画配信 (You Tube) を行います。
- (2) 総合運動公園内は館内を含めて全面禁煙です。
- (3) 競技会場・駐車場における事故・盗難等は、主催者側は一切責任を負いかねます。持ち物は、各団体において保管管理を徹底し、盗難防止にご協力願います。

16 夏季チャレンジレースについて

- (1) 両日とも予選会終了後に夏季チャレンジレースを開催します。
 - ・第1日目 15:30～(予定)
 - ・第2日目 15:15～(予定)
- (2) 参加申込は、両日とも各種目の競技終了後20分までとします。締切り時間に遅れないよう手続きを行ってください。

担当 競泳競技委員長 本田利幸 090-2695-1677
道水連事務局 011-820-1684 FAX 011-820-1685
※火～金 10:00～16:30

< 前回競技会等の反省から ～気を付けましょう～ >

- ・チーム席のシート他物品がそのまま整理されていない(乱雑なまま)。担当係が忘れ物と判断し、すべて撤去します。次の日のために置いていく場合は、“誰が見ても整理されている状態”にして退館してください。
- ・レースを終えた選手が招集所付近に残り応援をし、人の滞留を招いています。
- ・スマホ等のアリーナ内の持ち込みはできません。

※マナーを守れないチームにおいては今後の競技会参加について厳しく対処する方向で検討します。

第49回(2026年度)全国ジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会北海道予選会連絡事項

(一財)北海道水泳連盟競技委員会

1 競技会日程

(1) 第1日 7月4日(土)

- 6:45 スタッフ入館(裏口職員玄関) = 競技委員会、情報システム、事務局、審判長団
- 7:00 競技役員入館(正面玄関横) = 全競技役員…入館後の準備
※折返監察員(ウォーミングアップ時のレーンコントロールを行うため、早めに打合せを行い対応)
- 7:20 選手入館(正面2箇所) = 副審判長、泳法、会場、救護係(看護師が待機)
- 7:30 ウォーミングアップ開始(7:30~9:15) = 折返監察
- 8:25 主任会議 (研修室B)
- 8:45 競技役員全体ミーティング (研修室B)
- 8:55 競技役員係別打合せ
- 9:15 競技準備 = 各自担当部署の準備
- 9:27 競技役員入場 = 通告員 (放送・音楽)
- 9:30 競技開始
- 14:22 競技終了 (予定)
- 15:00 チャレンジレース担当役員ショートミーティング (研修室B)
- 15:30 チャレンジレース競技開始 (予定)
- 16:15 競技終了 (予定)
- 16:45 ウォーミングアップ・クーリングダウン終了
- 17:00 完全退館

(2) 第2日 7月5日(日)

- 6:45 スタッフ入館(裏口職員玄関) = 競技委員会、情報システム、事務局、審判長団
- 7:00 競技役員入館(正面玄関横) = 全競技役員…入館後の準備
※折返監察員(ウォーミングアップ時の選手整理・監視(レーンコントロール)を行うため、早めに打合せを行い対応)
- 7:20 選手入館(正面2箇所) = 副審判長、泳法、会場、救護係(看護師が待機)
- 7:30 ウォーミングアップ開始(7:30~9:15) = 折返監察
- 8:25 主任会議 (研修室B)
- 8:45 競技役員全体ミーティング (研修室B)
- 8:55 競技役員係別打合せ
- 9:15 競技準備 = 各自担当部署の準備
- 9:27 競技役員入場 = 通告員 (放送・音楽)
- 9:30 競技開始
- 14:10 競技終了 (予定)
- 14:45 チャレンジレース担当役員ショートミーティング (研修室B)
- 15:15 チャレンジレース競技開始 (予定)
- 16:00 競技終了 (予定)
- 16:30 ウォーミングアップ・クーリングダウン終了
- 16:45 完全退館

2 連絡事項

- (1) 競技役員の待機場所は「研修室B」です。
- (2) 役員等の入館担当は、副審判長と泳法、会場係、救護係(看護師が待機)です。時間に遅れないように集合してください。

- (3) 競技役員はオフィシャルユニフォーム(AD(道水連HPより取り込み)カードおよびカードフォルダー必要)と白色の運動靴を着用してください。
ADカード用フォルダーの仕様サイズは以下のとおり。
※ 仕様：ネックストラップ付きカードフォルダー(縦型) 所有していない方は当日、競技役員受付で販売(1枚100円)しています。
※ サイズ：はがきサイズ(100mm×148mm)用
研修役員は、上は白色ポロシャツ(チーム名等が入っているものは不可)、下は無地の黒か紺色のスラックス、靴は白色の運動靴を着用する。
※ 白ポロシャツは貸出をしています。必要な方は受付に申し出てください。
- (4) 有資格競技役員に1日(昼食付き)4,000円、無資格(研修)競技役員は、1日(昼食付き)2,000円をお支払いします。
また、研修役員は朝の受付で新規講習会時に配布された「実務研修終了証」を提出し、昼食時に忘れずに受取ること。
- (5) 駐車場の駐車許可証は不要ですが、係員の指示に従って正しく駐車してください。
- (6) **会場内は土足禁止です。外への出入りは必ず履物を変えて出入りすること。(キッチンカーへの買い物等にも注意)**
- (7) 突然の事情により欠席される場合は本連盟までメール(hsf@giga.ocn.ne.jp)またはFAXで連絡してください。ただし、連盟への連絡は3日(金)正午までとしますので、その後は競泳競技委員長に直接お願いします
- (8) 役員編成に、誤字・脱字等がありましたらご連絡ください。
- (9) ゴミは全て持ち帰りとなっておりますので、ゴミ収納袋等をご持参の上ご協力をお願いします。
- (10) メインアリーナ及びメインアリーナ側通路は、他団体使用のため立入禁止とします。

3 競技進行について

- (1) 50m種目のスタートは、スタート側より行います。(バックストロークレッジ活用のため)
- (2) タイムテーブルどおりの競技進行とする。10分以上早まるときは場内通告を行うこと。
- (3) 失格・ライトタッチは、速やかに表示を消し再表示しない。
- (4) 招集は、その種目の競技開始時間の20分前からとする。
- (5) 棄権・プログラム訂正は、**8:30**までに招集所へ提出すること。また、リレーオーダーの提出は当該競技を行う日の**10:00**までに、招集所へ提出すること。
- (6) 競技は、背泳ぎ及び50m種目を除き、オーバーザトップにて行う。
- (7) リレーを除く退水は横退水とする。
- (8) 無線機を利用する。チャンネルはA:6、B:8に固定する。
A・B:審判長・副審判長・競技進行
A:審判長・副審判長・泳法・折返(主+副+リザーブ+7、8レーン)・機械・通告・招集(主+副)・会場(主+副)
B:機械・PC
- (9) 水浴び用大バケツは、招集席出口に1個(ポンプ含む)を用意する。
- (10) 脱衣カゴは、選手のスタート席の右側に置く。

4 マスクの着用について

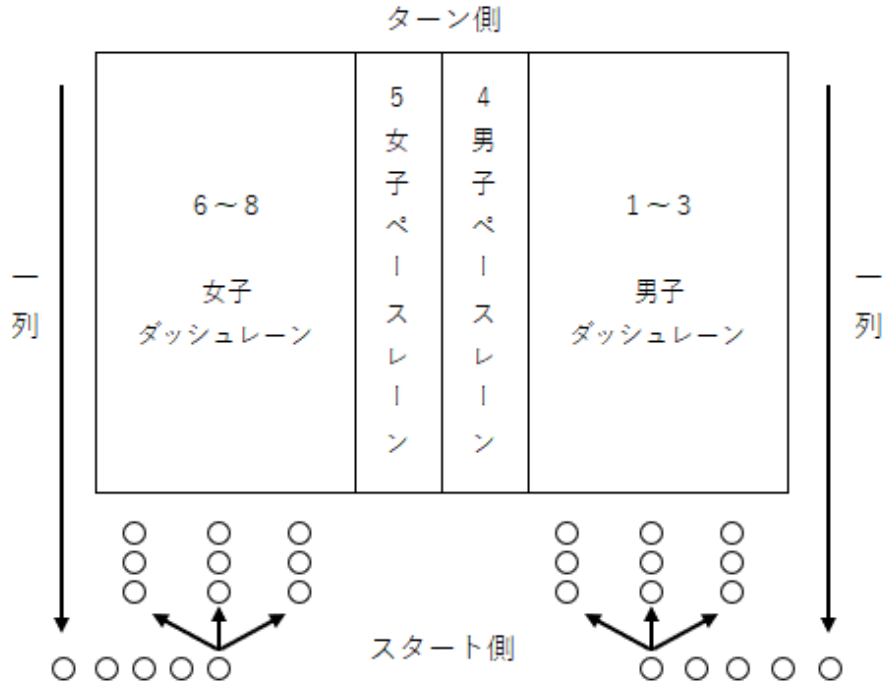
個人の判断に委ねる。
ただし、入場時や更衣室、招集所等、人ごみの多いところではマスクの着用を推奨します。

5 ウォーミングアップについて

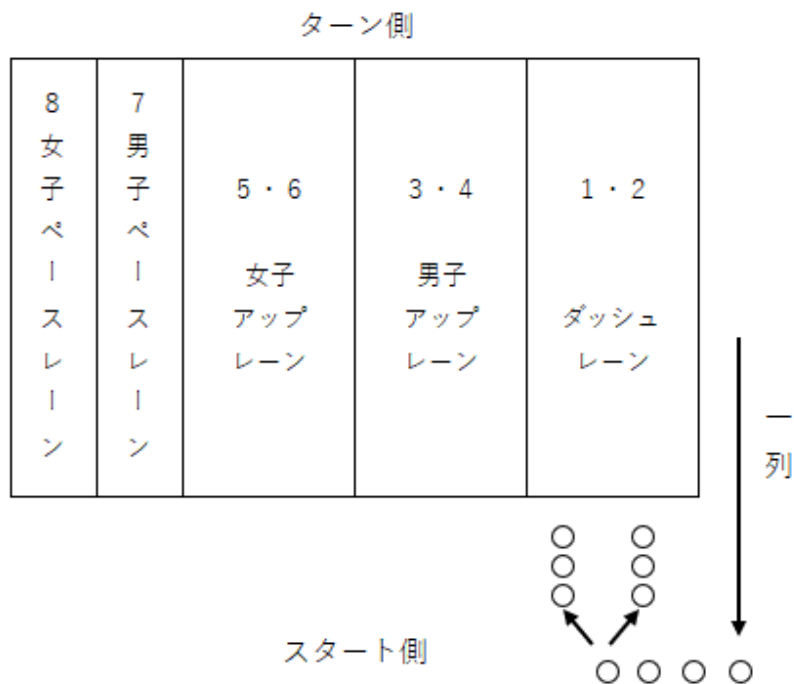
- (1) メインプールは**7:30~9:15**、サブプールは7:30~競技終了までとする。
(飛込プールはレーンロープ内のみ。9:00~15:00はAS委員会の練習が入ります。)
- (2) 利用方法について
- ① 練習でのパドル・ゴムチューブの用具は使用禁止とする。
 - ② 水中およびプールサイドでの順番待ちや待機中は、他者との距離など配慮ある行動を心がけてください。
 - ③ アリーナ内での、ウォーミングアップ中における指導を目的とした監督・コーチによる写真・ビデオ

オ撮影は認める。

- (3) ペースレーン 8:00~8:50 男子4レーン・女子5レーンを右側通行で使用する。
 ※400m以上の種目出場者のみとし、途中で止まらない。
 ※スイムのみとし、道具を使う練習及びダッシュ練習は禁止とする。
- (4) ダッシュ練習 8:30~8:50 男子1~3レーン・女子6~8レーンを使用すること。
 ※スタート側から一方通行
- (5) 公式スタート練習 8:50~9:10 男子1~3レーン・女子6~8レーンを使用すること。
 ※スタート側から一方通行



- (7) チャレンジレース参加者のメインプールでのウォーミングアップ
 1日目 14:30~15:20
 2日目 14:15~15:05



※ダッシュレーンは、スタート側から一方通行とします。

※ペースレーンは、400m種目出場者のみとします。また、スイムのみとし、道具を使う練習及びダッシュ練習は禁止。

6 競技役員の入退場要領

(1) 競技開始の入場

- ① プール中央出入口付近でプールを向いて二列縦隊で並ぶ。1mの距離間隔をとる為最後尾は通路に出て事務所方向に曲がって待機する。
- ② 隊列は、右側～泳法・S側折返主任・リザーブ・S側折返・審判長・出発合図員
(選手席の前を通り所定の位置へ行進)
左側～T側折返主任・リザーブ・T側折返・泳法とする。
- ③ 「入場の合図」で先頭から行進を開始し、二手に分かれて1列(2mの距離をとる)で、サイドの青マットの上を行進し審判位置で止まりプールを向いて立つが、S側折返監察員は椅子の前に立つこと。
- ④ 審判長等の紹介後、審判長の着席の手の合図で椅子等の整頓を行い着席する。
- ⑤ 歩行中は、プログラム(バインダー)を左手で縦に持つ。

(2) 競技終了の退場

- ① 音楽が鳴ったら椅子から立ち、審判位置に進み出てプールを向いて立つ。
- ② 「退場」の通告で向きを変え、入場行進と逆方向に歩き中央出口へ戻り、終礼を行う。
(1日目の終礼は行いません) ※1日目終了後、研修役員および有資格者

7 表彰について

- (1) 個人種目の各種目1位にはメダル、1～3位の入賞者には賞状を贈る。
- (2) リレー種目の各種目1位～3位までの団体には賞状を贈る。

8 係別任務要領等

**※【重要！】記載された事項だけが“任務”と云うことではなく、
周りへの気配りをお願いします。(出来ることは進んで行う！)**

(1) 審判長

- ① 通常のホイッスルを使用する。
- ② 競技進行の把握と遅れの原因チェック
- ③ 競技役員 of 動作確認

(2) 泳法審判員

- ① 選手及び競技役員の入館時の誘導を行う。
- ② 開始時は、必ず15mラインに向かい合って立つ。(平泳ぎはラインより内側)
- ③ 自由形は、スタートとゴールを除き定点監察とする。
- ④ 泳法違反は、無線機で審判長に違反の内容を説明する。失格の判断は審判長が行う。

(3) 出発合図員

- ① 合図員同士のタイミングは斉一を期す。
- ② 公式スタート練習は、競技と同じタイミングで打つ。
- ③ ヘッドホンマイクを使用する。予備電池を忘れない。
- ④ 違反報告用紙をスタート台棚等に置いておく。(用紙は大会本部に用意してあります。)

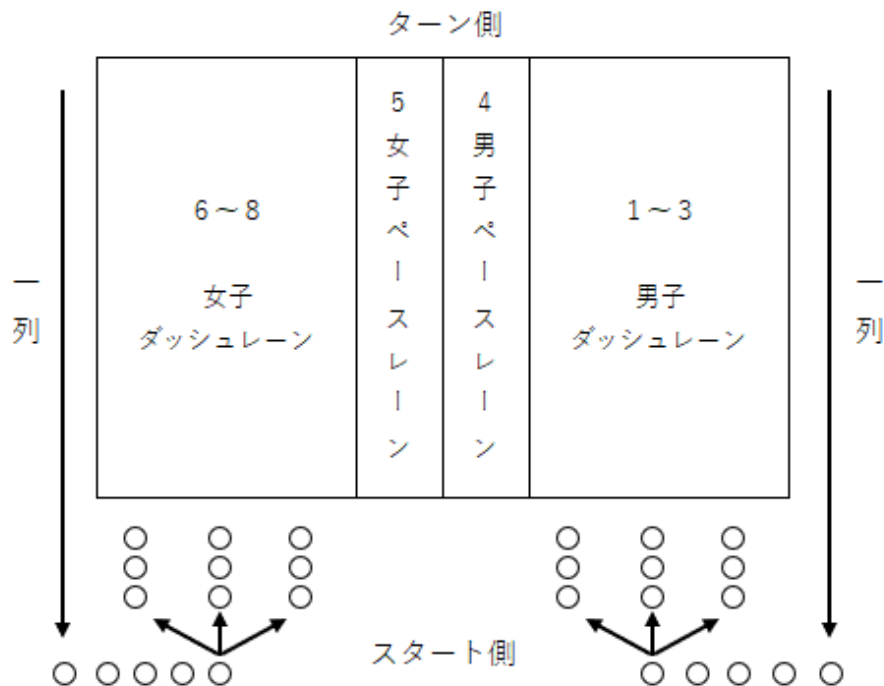
(4) 招集係 (招集場所は会場図参照)

- ① 棄権、プログラム訂正は、両日とも**8:30**までに提出させる。また、リレーオーダーの提出は**10:00**までに、招集所へ提出させること。なお、リレーオーダー未提出のチームがある場合は、通告へチーム代表者呼び出しの依頼を行うこと(早めに)。

- ② 棄権者を明らかにし、必要により棄権用紙を作成する。
- ③ 競技の招集は、その種目の競技開始 20 分前からとする。
- ④ 招集では、点呼により本人確認し、ADカード、水着、持ち物等のチェックを行う。
- ⑤ 本大会の商標規程の対象となる場所は「プール」とし、「招集から競技終了まで」とする。
- ⑥ AQUA（旧FINA）認証水着・商標規定の確認を行うが、持ち物等にキャラクターを着けた者がいた場合は外させる。**特にキャップ、収納袋等にも注意する。**
- ⑦ 入場の前に水慣れをさせ、誘導中は振り返って選手を確実にレーンまで誘導する。特に、空きレーンへの誘導は絶対にしない。また、誘導後の確認、礼を忘れない。

(5) 折返監察員 ※副主任は計時主任を兼務。(2, 4, 6, 8 レーン担当は計時係を兼務する。)

- ① 計時員兼務とし、主任は全体統括を担う。班編成は副主任 1 名+監察員 8 名・リザーブ 1 名の 10 名で 1 班を基本体制とし、3 班で運用する。
- ② ウォーミングアップ時の会場(選手)整理【**レーンコントロール**】を行う。
 - ア 大会期間中の朝及び昼のウォーミングアップ時に選手の事故防止に従事する。
 - i スタート側・ターン側の 2 組に分かれ、スタート台の右側に立つ。飛び込んでの入水を防止する。
 - ii 「足からの入水」「パドル等の用具使用禁止」等と呼びかける。
 - イ ダッシュレーンの設置を行う。
 - i ダッシュレーンの整理・誘導を行う。
 - ii 選手の代理がダッシュレーンに並んだり、割り込みが起こったりしないよう注意喚起する。



- ③ 計時員を兼務している担当者は、ゴール監察と計時（半自動）を確実に実施する。また、ゴール後の静止（オーバーザトップ）や退水の手助けを積極的に行うこと。
※ リレー種目は自レーンから、他の種目は横退水とする。
- ④ 監察員の着座位置は、選手席の 1 m 後方とする。
- ⑤ 全ての競技において、プログラムで選手の本人確認を確実に行う。
※ 選手の名前がプログラムと違うときは、速やかに主任に連絡をする。主任は、審判長に報告し指示を受ける。 ※ 判明するまでスタートを遅らせる。
- ⑥ 次に、スタート台のバックプレートの調整を行なわせ、最後に、キャップとゴーグルを直させる。
- ⑦ 静止地点は予め統一しておく。
- ⑧ 出発合図後、全ての種目について速やかに台上に上がり、競技者のスタートから最初の一かきの終了まで（平泳ぎは二かき）の監察を行う。

- ⑨ 監察時は、必要以上に腰を曲げない。
- ⑩ レーンに選手がいない場合は、着座のままでよい。
- ⑪ バックストロークレッジの脱着を行う。(主任及び当該レース担当以外の副主任ならびに会場係2名が搬入)

背泳ぎ種目が始まる前にあらかじめスタート台後方に用意されたバックストロークレッジを前の種目の最終組スタート後の監察後、直ちにスタート台に装着し、レベルを「0」に合わせた後プレートを持ち上げ、スタート台上のバックプレート後方に置く。当該種目監察終了後、スタート台上のプレートを水中に入れる。スタート監察後再びスタート台上のバックプレート後方に置く。
(レベルを「0」に合わせることを忘れないこと)

最終組の監察終了後、バックストロークレッジを巻き取り(ねじれに注意)、スタート台後方に置いておく。

- ⑫ 失格判断の流れ ※泳法審判員も同様に行う。
 - ア 監察員は明確に違反があったと認めた場合は、主任(副)に片手を挙げて(胸元あたり)合図を送る。
 - イ 主任(副)は、〇〇レーンから違反の合図があったことを審判長に無線で連絡を入れる。
 - ウ 当該監察員はリザーブに監察を依頼し、審判長の所に行き違反の内容を説明する。
 - エ 審判長の失格判断で、当該監察員は審判用紙に必要事項を記載し、審判長に提出する。
 - オ 審判長は失格を確定した後、違反報告用紙を待たずに通告へ失格内容を伝達、速やかに通告させる。

(6) 機械操作員 ※映像係を兼務する。

- ① 着順審判を兼務する。
- ② 新記録の確認を行い、発生の場合は審判長へ明確に合図を送る。
- ③ 競技進行時間を記録する。

(7) 計時員(研修役員)

- ① 半自動装置とストップウオッチを使用する。
- ② 選手がターン、ゴール前10mに来たらグリップ、ストップウオッチを持ち、スタート台横に上がる。(タッチ板を踏まないように注意する)
- ③ グリップ、ストップウオッチを止めるとき、大袈裟に振り回さないこと。身体につけて確実に押す。(腰骨のあたり)
- ④ ライトタッチ時は、機械審判の指示により計時のストップウオッチを予備のストップウオッチと取り替る。
- ⑤ ストップウオッチのリセットは、審判長の長笛の時に行う

(8) 記録員

- ① 全ての記録を照合する。
 - ア 新記録の確認
 - イ PT-8000からの印字紙をプログラムに貼付する
 - ウ 手動訂正の確認
- ② 公式文書(結果・訂正・案内・連絡)は、全て一連番号を付して保管する。
- ③ 公式文書(競技結果、スタートリスト及びプログラム訂正・変更)などの発表は、『東洋電子HP』を利用して行う

(9) 会場係

- ① 共通
 - ア 入館者全員のADカードの確認を行う。常時、首から提げて着用を指示する。
- ② 館内巡回
 - ア プール観客席以外での撮影禁止の指導
 - イ 通路等指定場所以外使用の注意指導
 - ウ ゴミ投棄の指導
- ③ 選手の転倒防止のための水分拭き取り(スタート台付近にこだわらない。プールサイド等選手が多く歩くところ重点的に行う。)

- ④ バックストロークレッジのスタート台までの搬入・搬出（あらかじめ2名を決めておく）。
- ⑤ 競技終了後の案内表示札（連盟旗・日水連盟旗を含む）の撤去、回収
- ⑥ その他（審判長指示）

(10) 賞 典 係 ※速報係と兼務する。

- ① 個人種目の各種目1位にはメダル、1～3位の入賞者には賞状、リレー種目の各種目1～3位までの団体には賞状を贈る。
- ② メダル・賞状は、チーム毎に管理し、チーム責任者に確実に受け渡すこと。なお、受け渡しは両日とも、競技終了後20分までとする。

(11) 速 報 係 ※賞典係と兼務する。

無駄のない文書を作成、配布する。

ア 競技結果 会長席 1

イ リレー種目スタートリストおよびプログラム変更

会長席1、通告1、招集3、審判長・出発合図1、泳法審判2、折返監察2、競技進行1

ウ その他（業務連絡等） 審判長他必要部署

(11) 通 告 員

レーン紹介・記録・結果の発表は行わない。ただし、新記録が樹立された場合および失格者の通告は行う。また、リレー種目についてはチーム名のみ紹介する。

(12) 競技役員係

- ① 大会役員、競技役員の入館時受付
- ② 大会受付
 - ア 競技役員の出欠管理
 - イ プログラム販売等
- ③ チャレンジレースの申込み受付

(13) 救 護 員（看護師が対応）

- ① 救助員＝日赤水上安全法指導員と連携する。
- ② アリーナ内全体の監視をする。
- ③ 救助員は、メインプール2名・サブプール1名を基本配置とする。
- ④ 救助員は、レース中に水中に脱落したキャップ・ゴーグル等を取り除く。

※事案が発生した場合に競技役員全員が直ちに行動（対処）出来るよう、心がける。

担 当 ： 競泳競技委員長 本田利幸 090-2695-1677

前回競技会等の反省から ～気を付けましょう～

- ・ストレッチスペースにおいてチームや個人で場所取りが発生し自席のように休憩（寝ている）している選手が複数人確認されています。← 禁止です。
- ・チーム席のシート他物品がそのまま整理されていない(乱雑なまま)。担当係が忘れ物と判断し、すべて撤去します。次の日のために置いていく場合は、“誰が見ても整理されている状態”にして退館してください。
- ・レースを終えた選手が招集所付近に残り応援をし、人の滞留を招いています。
- ・スマホ等のアリーナ内の持ち込みはできません。

※マナーを守れないチームにおいては今後の競技会参加について厳しく対処する方向で検討します。